



ヤシマキザイのチカラ
つねに、一步先へ。

個人投資家向け I R セミナー 資料

東証スタンダード市場 証券コード: 7677

株式会社ヤシマキザイ

2024年 7月 9日

(主催: 公益社団法人日本証券アナリスト協会 日経茅場町別館 B 1 F)

株式会社ヤシマキザイとは

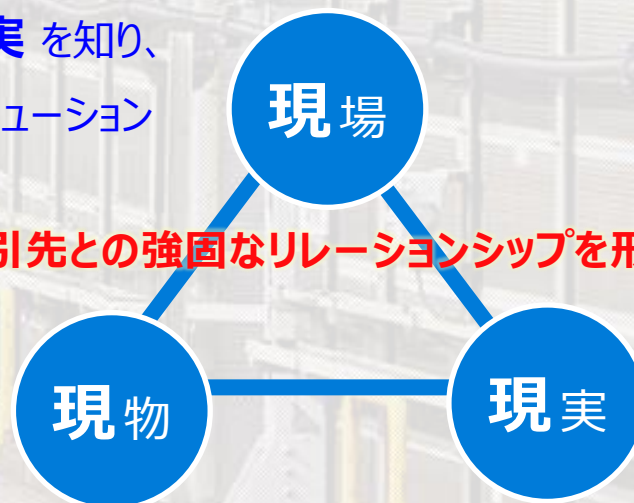
鉄道業界を主な市場として、商材やサービスを提供する商社です

3 現主義を基軸に、鉄道業界で重要なポジションを確立しています

3 現主義とは 10-500

顧客の **現場** に足を運び、**現物** に触れ、**現実** を知り、
顧客のニーズをくみあげ、仕入先に展開し、ソリューション
を組み立てることを意図しています。

取引先との強固なリレーションシップを形成



1. 会社概要	P. 4
2. 特長と強み	P.16
3. 成長戦略	P.21
(2025年3月期～2027年3月期 中期経営計画)	
4. 2025年3月期 通期業績予想	P.27
5. 配当・株主還元	P.31
6. トピックス	P.34
7. ご参考資料	P.46

【ご注意事項】

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があります。





1. 会社概要

■ 1948年に設立、旧国鉄との取引から始まり75年、鉄道の発展に寄与し成長

ヤシマキザイ主要商材

<インバータ装置>



<座席>



<情報通信・制御機器>



<検測車>



<ドア開閉装置>



<速度発電機>



<運行管理システム>



<エンジン部品>



<コネクター>



代表取締役社長
高田 一昭
<2014年就任>

第2の創業

'03 秋田

'04 上海

'11 ロンドン
ハノイ

'15 ジャカルタ

'17 インド

JR・電車の歴史



【国内拠点】

'51 札幌

大阪

名古屋

仙台

広島

水戸

川崎

高松

九州

'84 静岡

('20 浜松に移転)

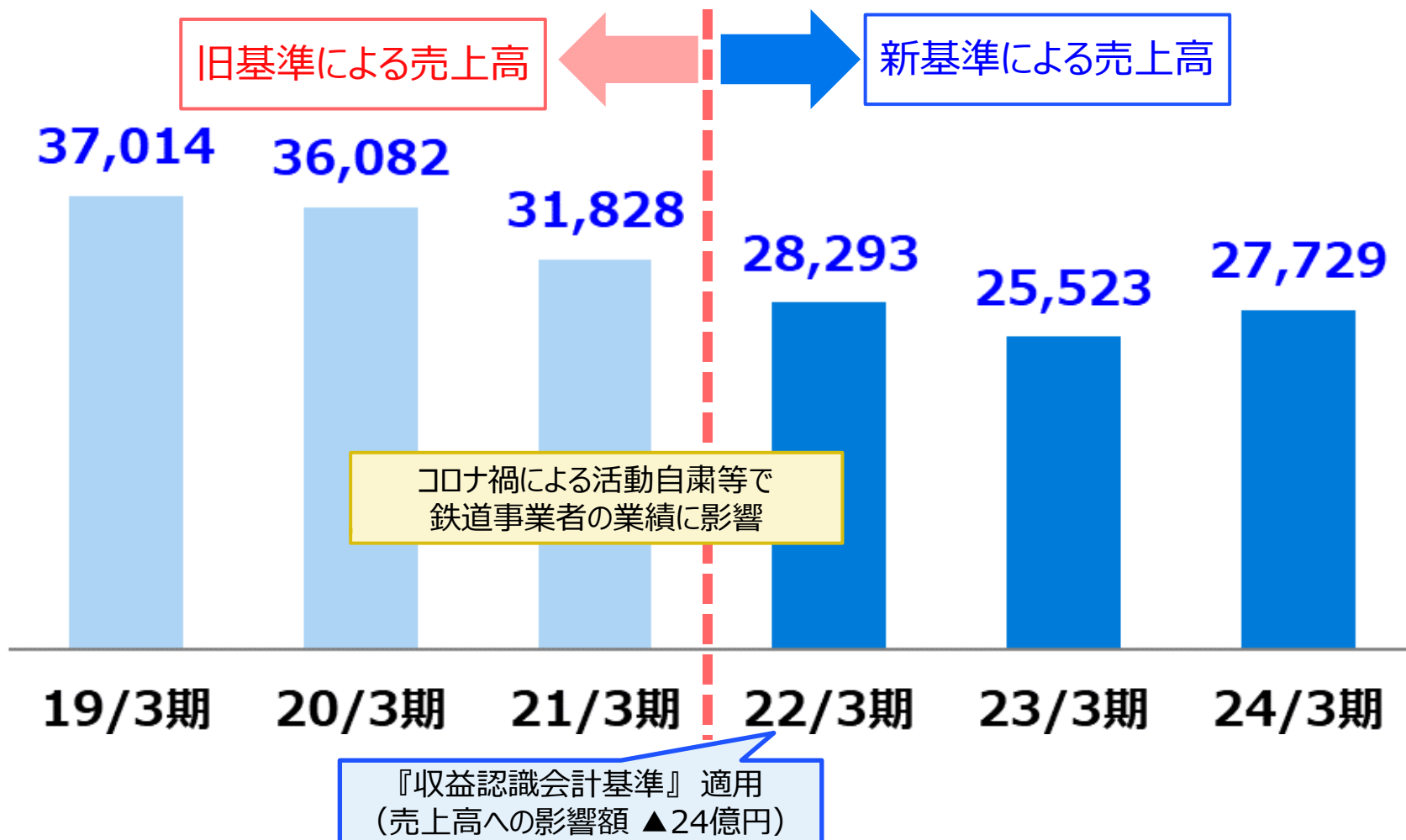
【海外拠点】

1948年10月設立



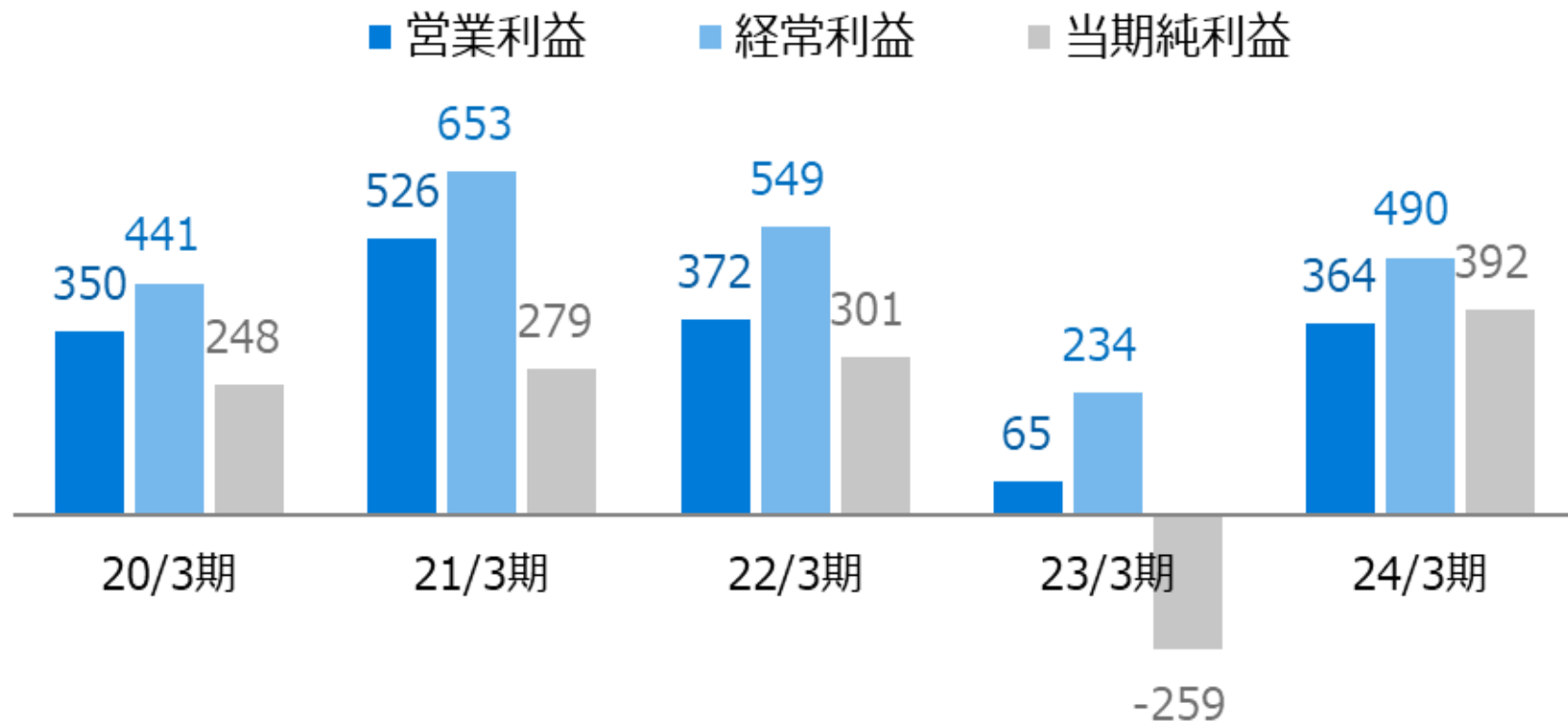
- コロナの影響が緩和され、主要顧客の鉄道事業者の業績は回復基調に入り、鉄道事業者の設備投資等も回復途上にある。23/3期案件の24/3期へのスライドもあり増収増益だが、コロナ前の水準には戻らず。

連結売上高の推移 (百万円)



- 利益面は増収に伴い増益も、純利益は特別利益を除けばコロナ前水準には届かず
 - ・ **23/3期**は不適切な会計処理が発覚したため、売上の一部を取り消し、また中国子会社の一部取引については不正の疑いが払拭しきれなかったため、対象の取引先に対する未収金について貸倒引当金（特別損失）を計上して最終赤字となりました。
 - ・ **24/3期**は回収された未収金について、特別利益を計上したため、当期純利益が増加しました。

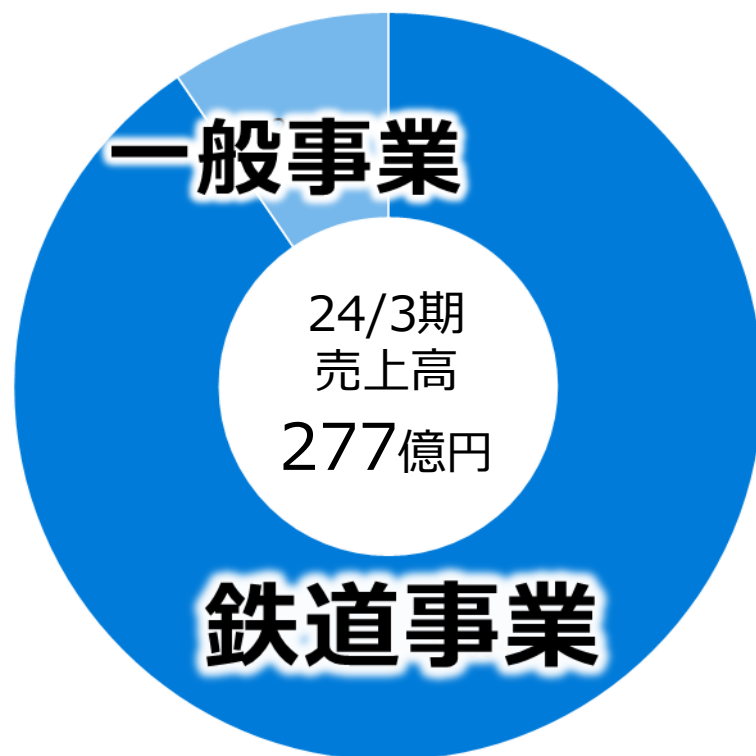
利益の推移（百万円）



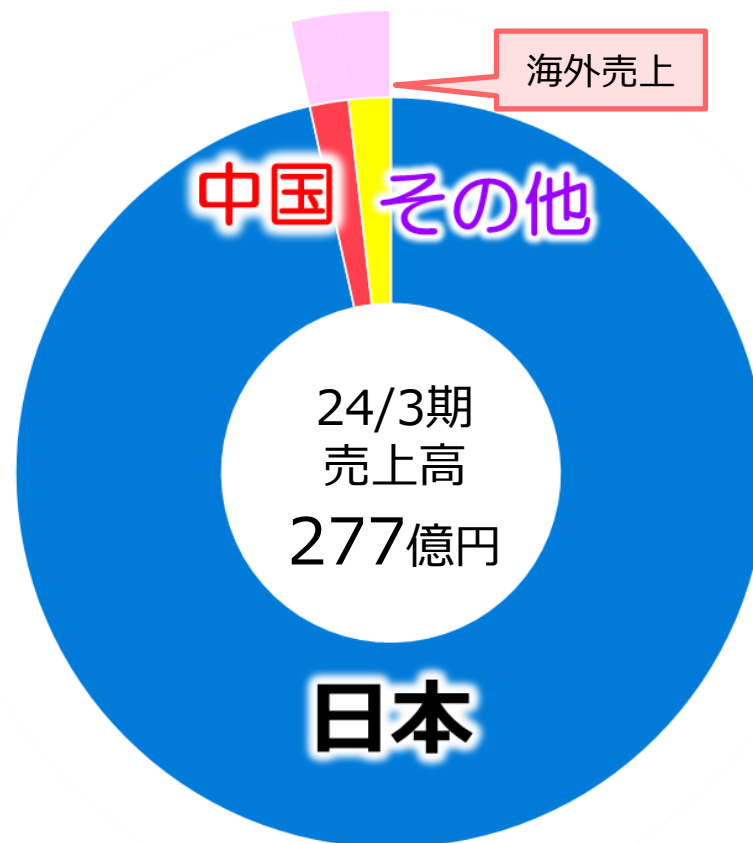
鉄道事業 鉄道事業者や車両メーカー等に車体用品、電気用品等を販売

一般事業 鉄道業界以外の産業機器メーカー等に電子部品等を販売

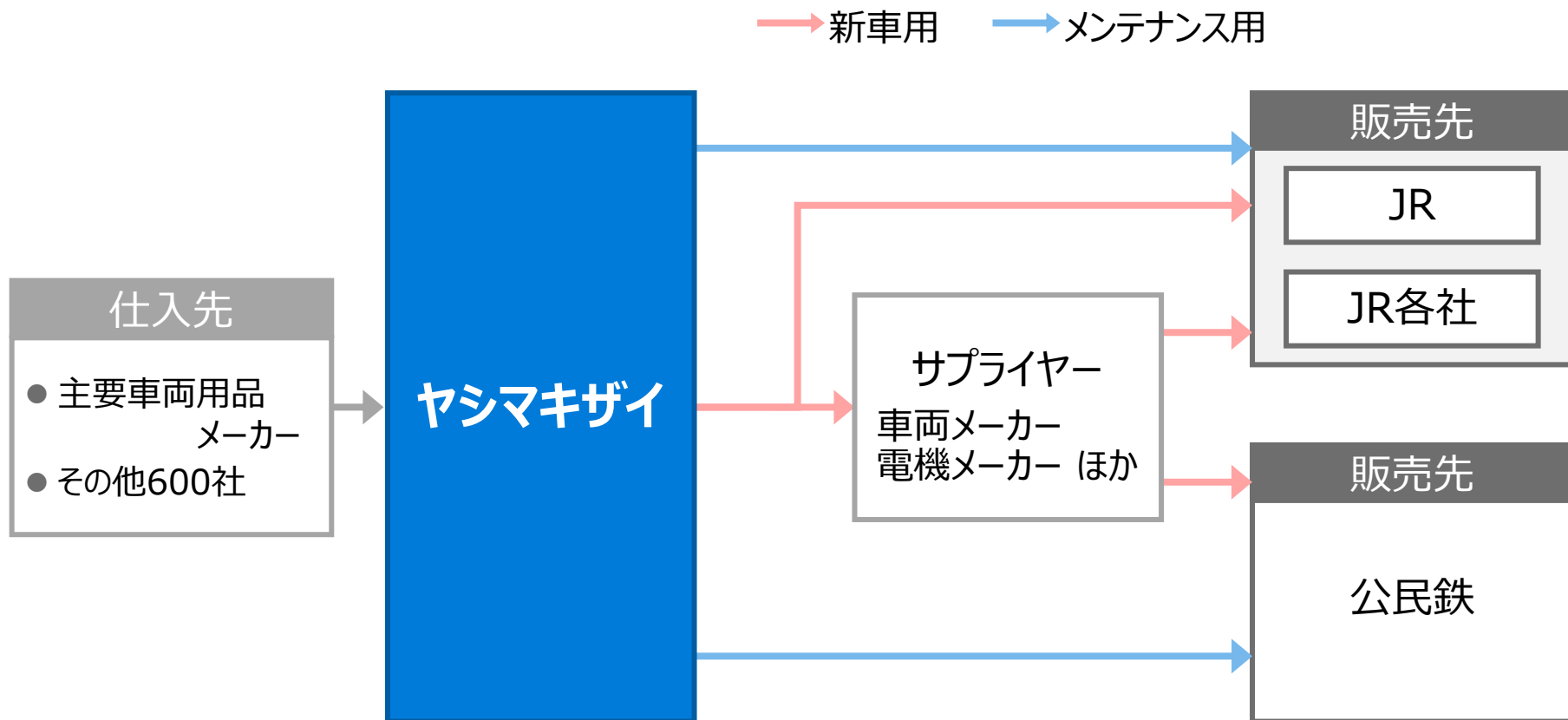
セグメント別 売上高構成比



地域別 売上高構成比

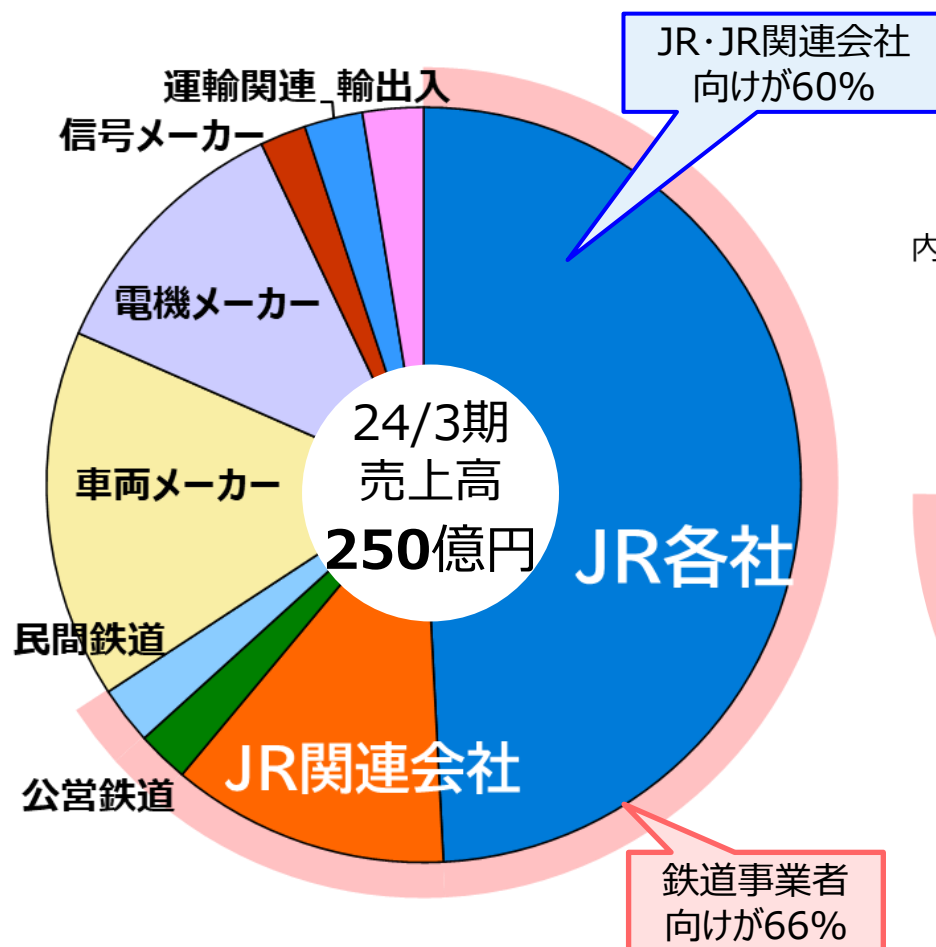


- 仕入先は**日立製作所**、**日本航空電子工業**、**ナブテスコ**、**コイト電工**などの国内有数メーカー
 - ◆ JRはじめ鉄道各社と仕入れ先を結ぶ重要なポジションで商材を提供

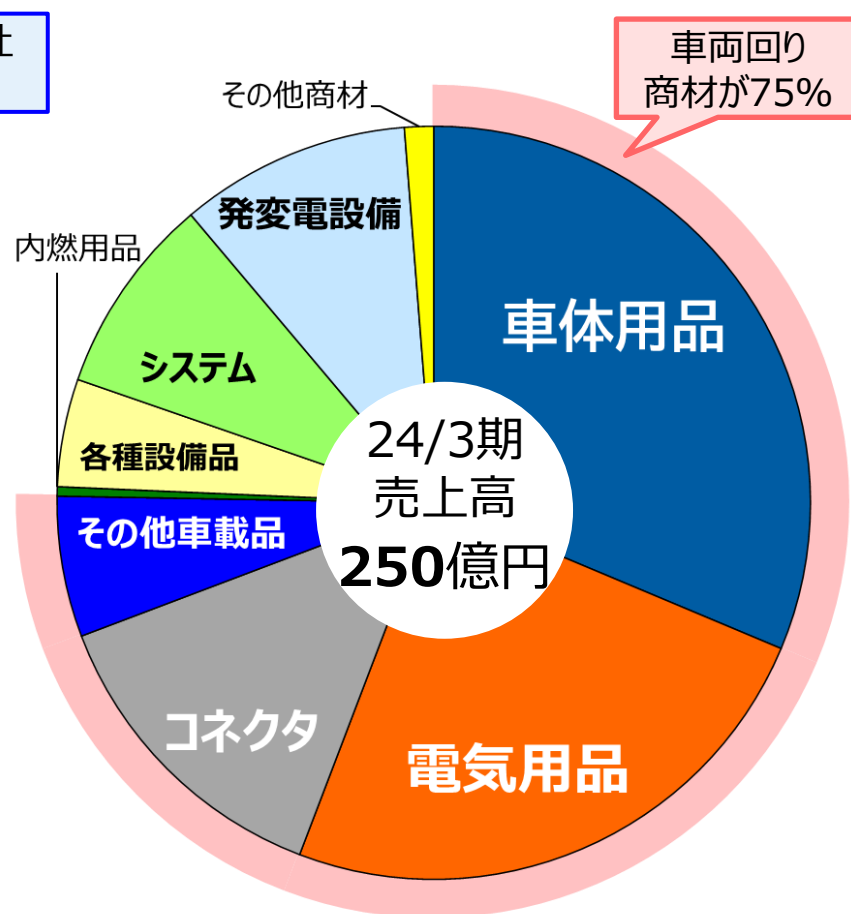


- 鉄道という特殊な条件に適合する**9**業界へ**9**商材を提供

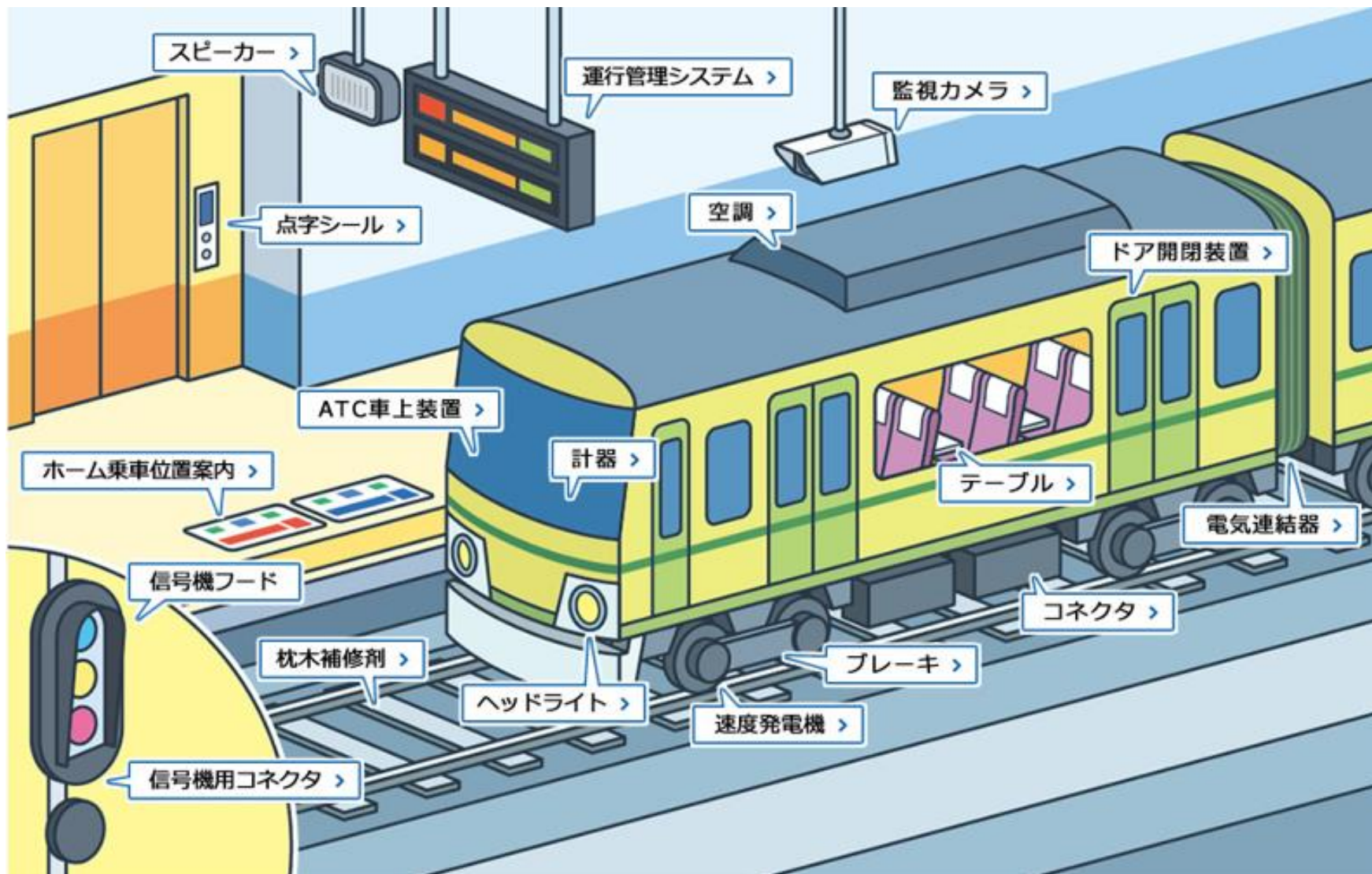
9業界別 売上高構成比



9商材別 売上高構成比

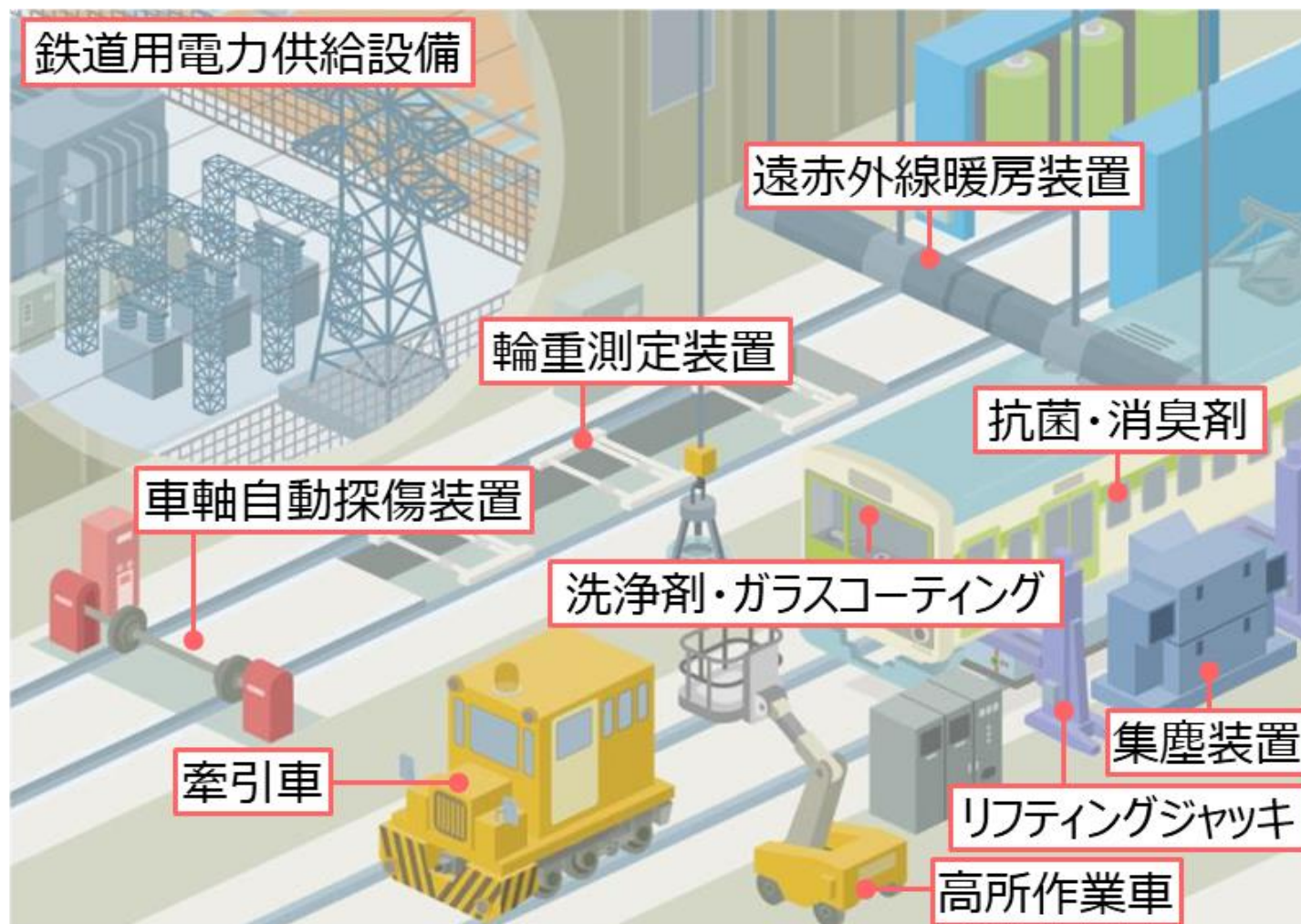


- 車両周りをメイン分野とし、幅広い鉄道関連商材を取り扱う



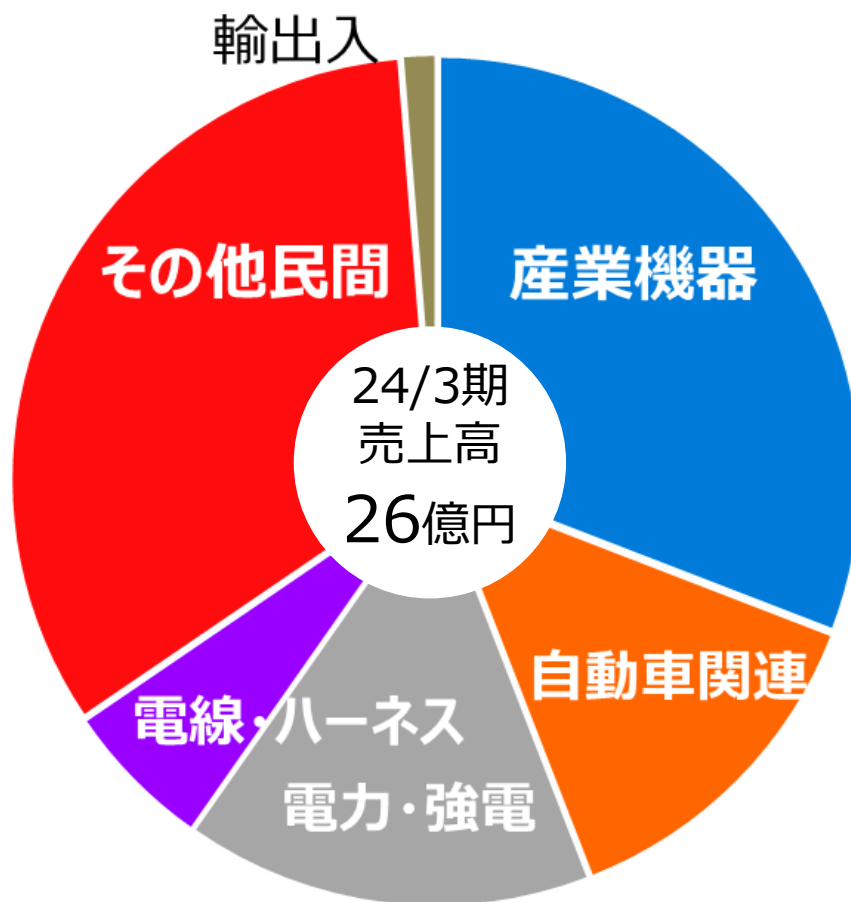
■ 車両周り以外にも、幅広く鉄道業界を支える

検修施設、駅などで使用するものや、電車の運行に必要なシステム、発電所・変電所の製品も扱う

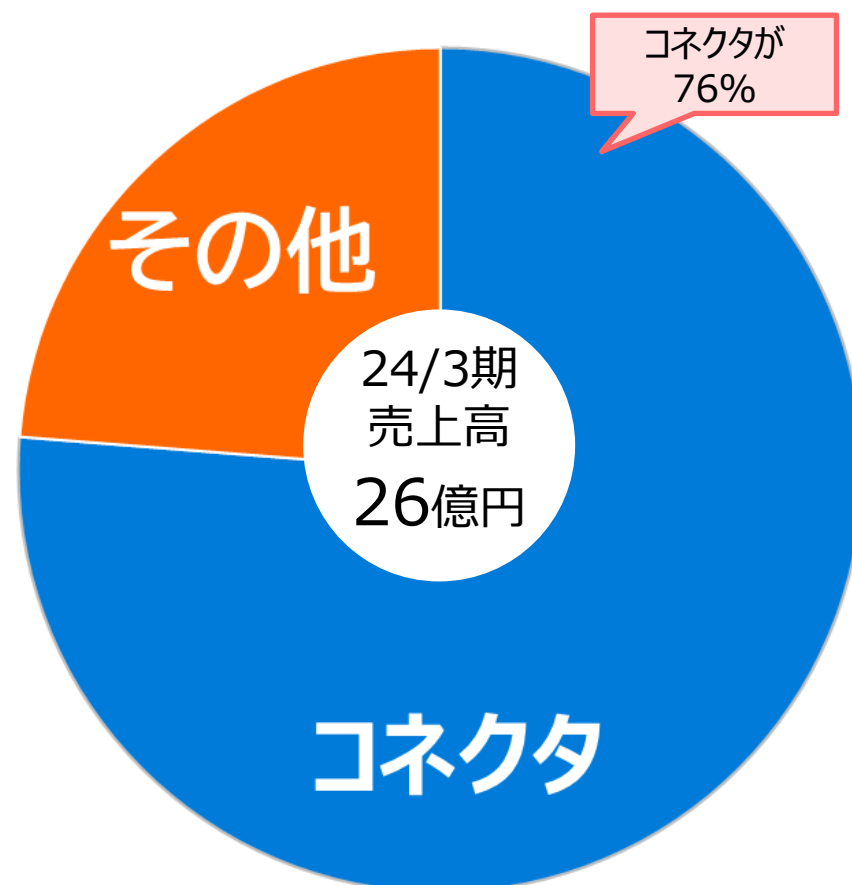


- 鉄道事業における販売先以外の**6**業界へ、コネクタ・電子部品などを販売

6業界別 売上高構成比



商材別 売上高構成比



- 鉄道事業以外の販売先を対象に、主にコネクタ・電子部品などを販売



- コネクタ以外の商材ラインナップも拡販中
(写真は道路インフラ業界向けに提案している商材)



移動電源車



トンネル向け融雪装置



落雷抑制型避雷針



ETC・サービスエリア向け融雪装置

2. 特長と強み

創業以来**75**年、**3現主義**で築き上げた、**顧客**との**強固なリレーションシップ**°

1

高い専門性と3現主義に根差した商社機能

2

業界で唯一、北海道から九州まで、全国を網羅するサービス網

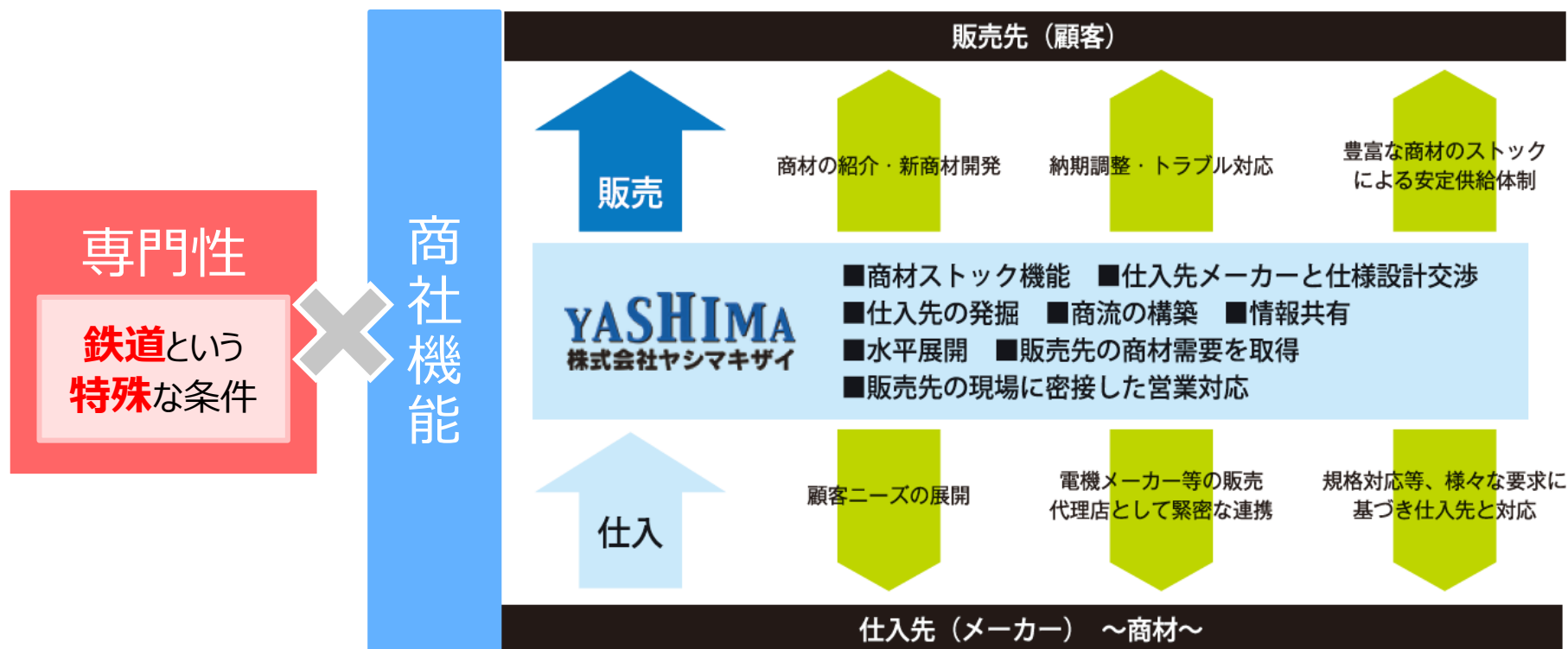
3

鉄道業界の水先案内人としての海外展開力

①高い専門性と3現主義に根差した商社機能

- 永く鉄道業界で培ったノウハウと、約600社の仕入先・中小メーカーとのパイプを活かし、顧客の実情に合わせた様々な商材を提案

⇒ 専門商社として、鉄道という社会インフラを支える

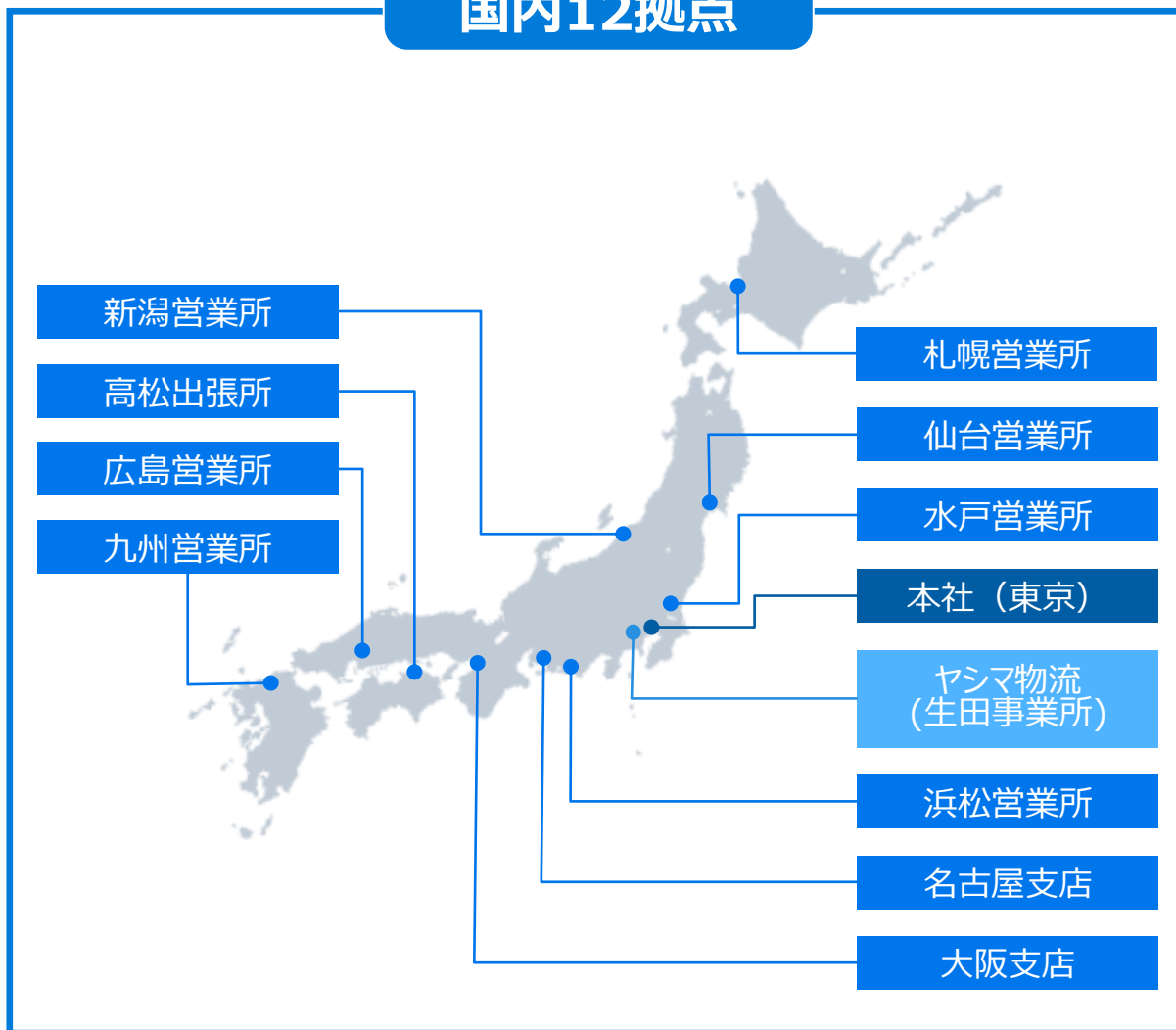


②業界で唯一、全国を網羅するサービス網

■ 業界で唯一全国をカバーする現場力で差別化

大手企業ではカバーしきれない小回りの良さで、現場のニーズに根差した商品を提案

国内12拠点



東京本社



大阪支店



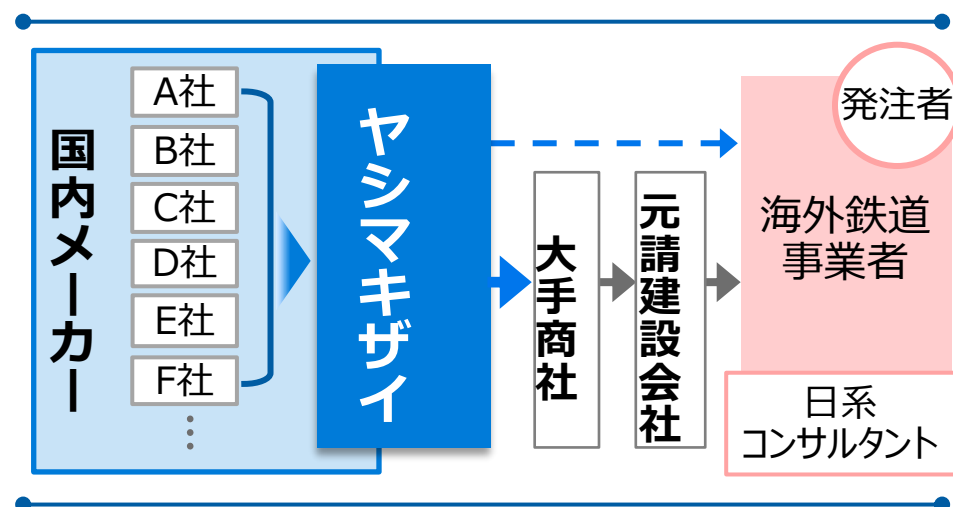
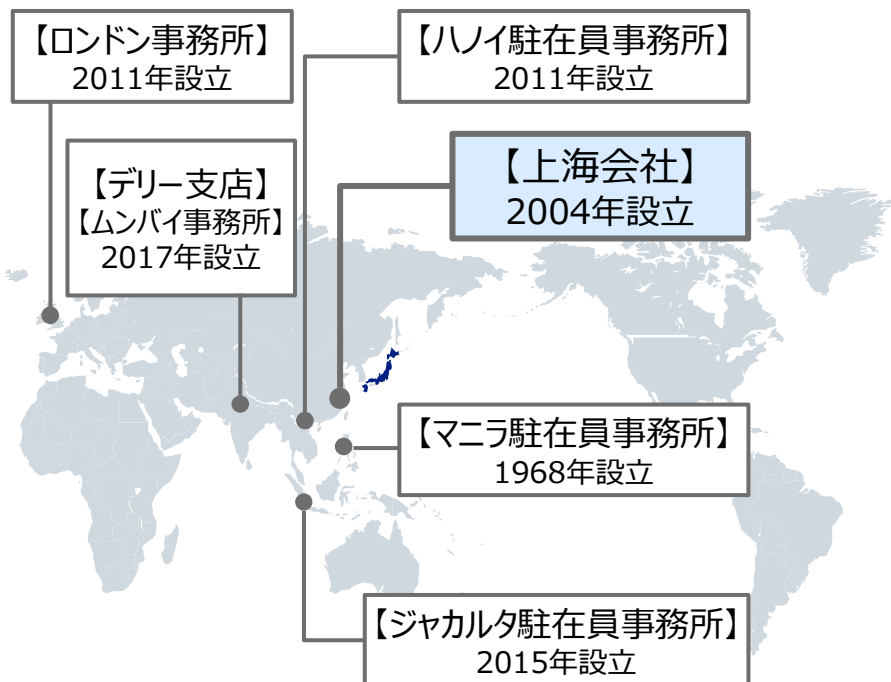
名古屋支店

③鉄道業界の水先案内人としての海外展開力

- 国内で培ったノウハウを基に、海外への展開を進める
- ODA案件等で仕様交渉と商流構築力を実践

海外7拠点

■ 連結子会社 □ 支店・駐在員事務所



国内メーカーと海外鉄道事業者等を結び付け、仕様や納期の調整に加え、大手商社が持たない中小メーカーとのパイプ役として、存在感を発揮



3. 成長戦略 (2025年3月期～2027年3月期 中期経営計画)

前中期経営計画(2022年3月期～2024年3月期)の振り返り

1 ポストコロナに向け、安定成長軌道への回帰

コロナの影響は減少も半導体不足等で予定案件が後倒し

⇒ 売上計上に至らず



2 事業環境の変化を見据え、新たな企業価値・存在価値の創出

鉄道事業者は省力化・効率化志向に変化

⇒ DX分野で自社開発ソフトウェアを提案するなどの取組みを開始



3 2024年3月期 ROE 5%

売上の未達、販管費の増大等

⇒ 2024年3月期 ROE 4.1%



中期経営計画 基本目標

前中期経営計画が未達成に終わったことを受け、新中期経営計画でも基本目標・方針を引き継ぐ

1

安定成長軌道への回帰

2

新たな企業価値の創出

3

ROE 5%超の達成

中期経営計画 基本方針・戦略

全般事項

人的資本への投資を通じて
グループの成長力強化

人材育成による生産性向上と
エンゲージメントの強化

働きやすい制度・環境の整備を
実行し、成長力の強化

ヤシマキザイグループとしての
連携強化、信頼回復・向上

不適切な会計処理問題の反省
コーポレートガバナンスの強化

コンプライアンスを徹底し、
企業活動推進

中期経営計画 基本方針・戦略

鉄道セグメント

既存事業の基盤強化と
付加価値の向上

鉄道分野への販売強化
仕入先との関係強化・商材の拡充

「3現主義」の実践
販売先のニーズ・課題の把握
ソリューションの提案

成長発展分野の選定
次世代を担う新事業の開拓

市場動向の把握
付加価値の高いサービスの提供

公営・民間鉄道への注力
新たなビジネスモデル創出

中期経営計画 基本方針・戦略

一般セグメント

一般セグメントの収益性向上
投下リソースに見合う採算確保

道路インフラ事業の拡大
新たな販売先・商材の開拓

全国横断的な営業展開
業務効率化・生産性の向上

デジタル分野

AIを活用したニーズへの対応

オリジナルパッケージの開発・販売

海外事業

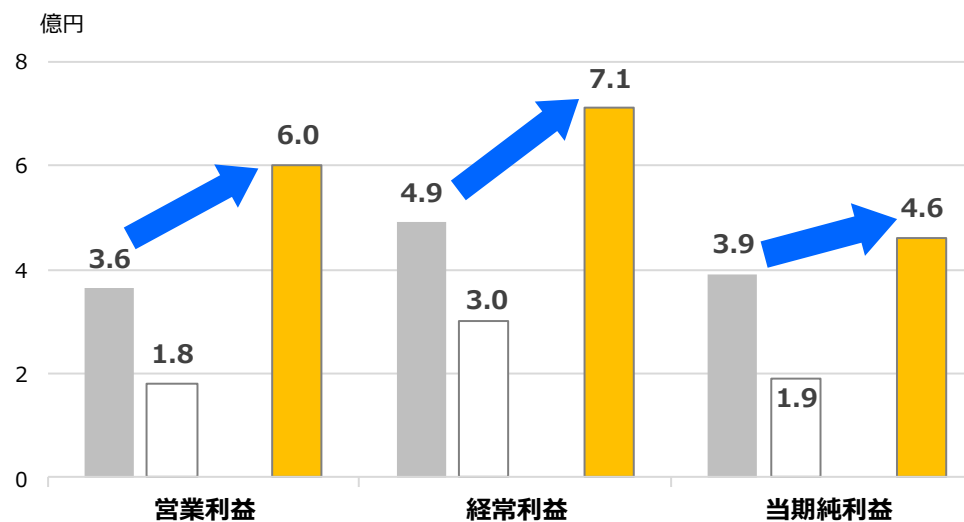
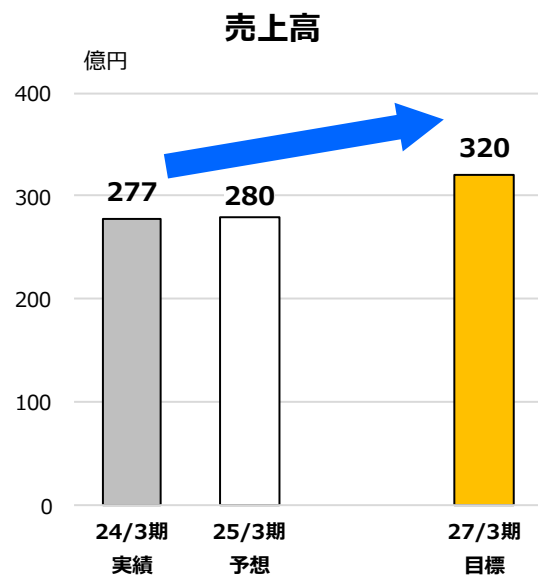
ODA鉄道インフラ整備案件への
参画を通じてグローバル市場開拓

海外パートナーとの連携
グループ内が連携し、体制の強化

リスク管理を図りながら
中長期的に商圈を拡大

(単位：百万円)

	24/3期 実績	25/3期 予想		27/3期 目標	24/3期 比較
売上高	27,729	28,000		32,000	+15.4%
営業利益	364	180		600	+64.8%
経常利益	490	300		710	+44.9%
当期純利益	392	190		460	+17.3%
R O E	4.1%			5.0%	





4. 2025年3月期 通期業績予想

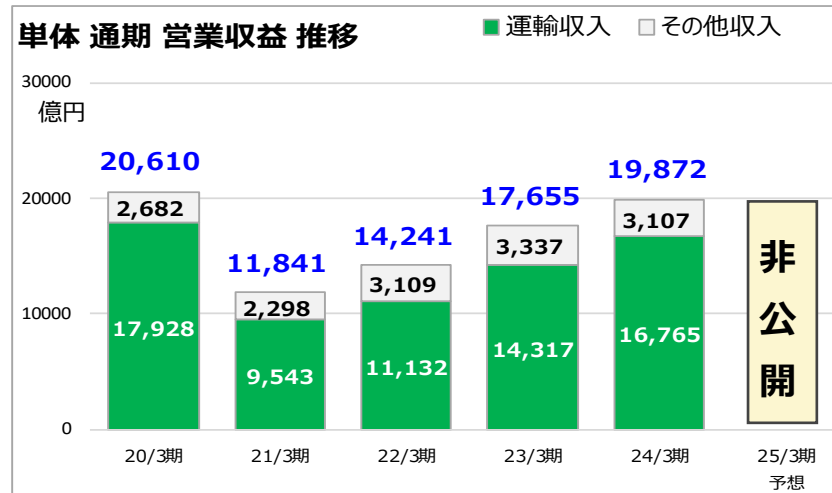
【JR各社（単体）の運輸収入】

国内旅行やインバウンド等の移動需要回復

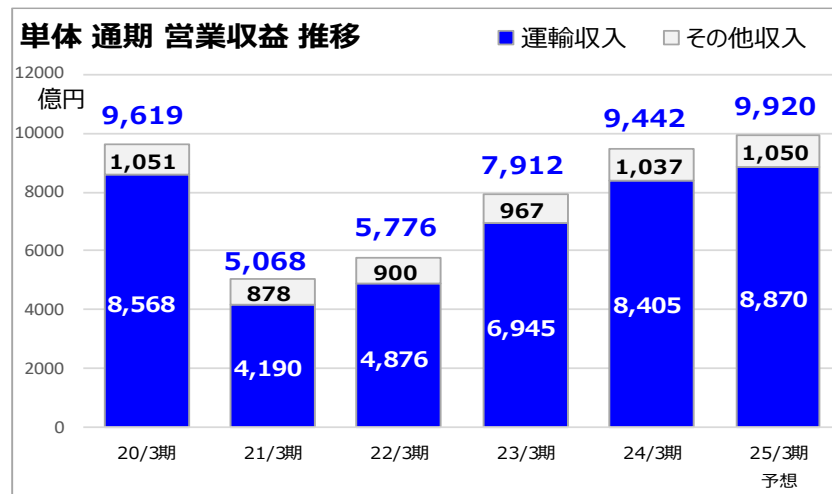
⇒JR 3 社においても増収増益

※大手民間鉄道事業者についても
同様の傾向がみられる

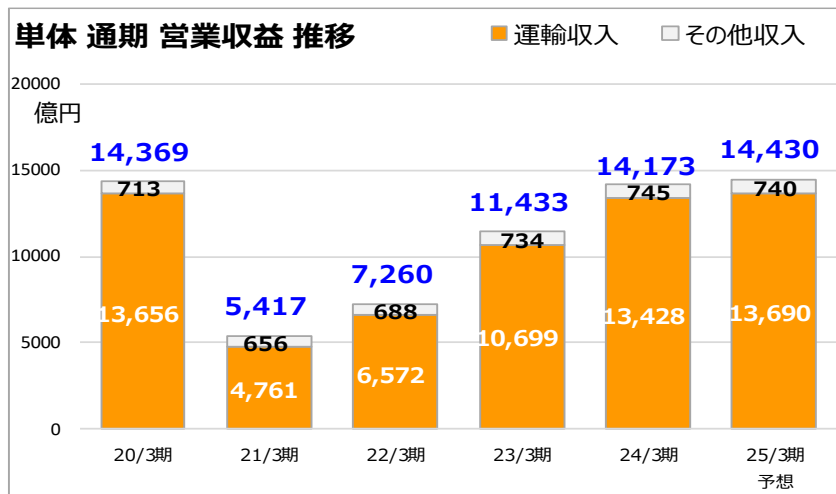
JR東日本



JR西日本



JR東海



【JR各社の設備投資意欲が回復】

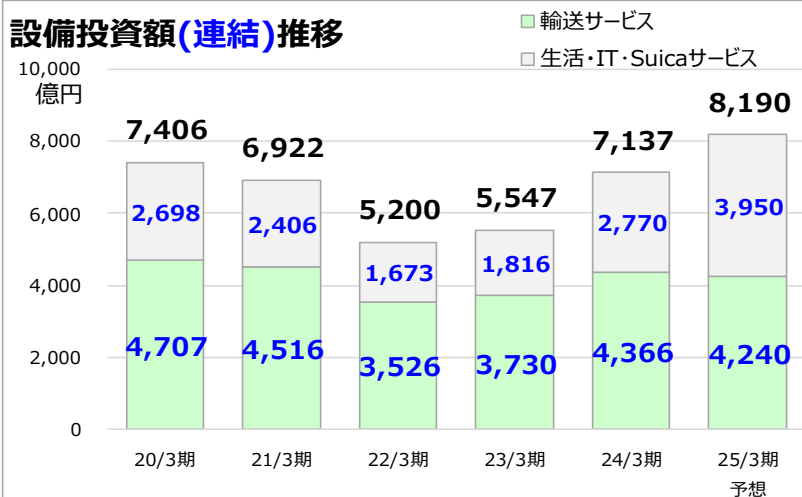
旅客需要の回復により、設備投資も回復基調

⇒25/3期はJR 3 社とも

安全投資や輸送サービスに関する設備投資は横ばいから増加の計画を発表

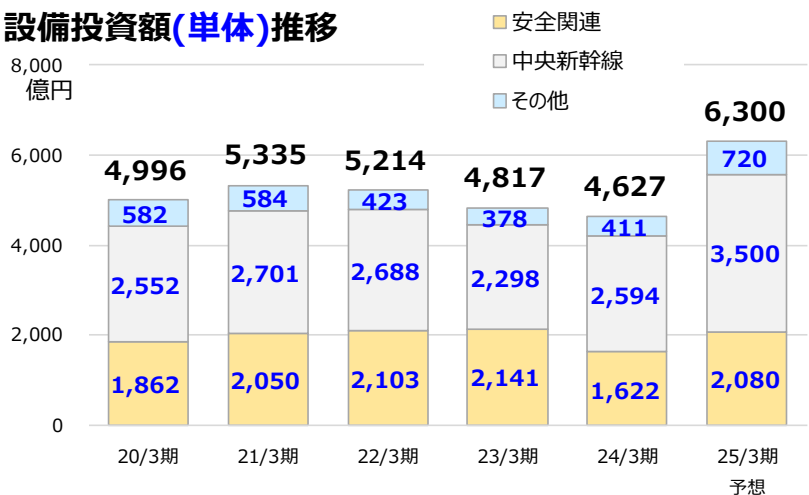
JR東日本

設備投資額(連結)推移



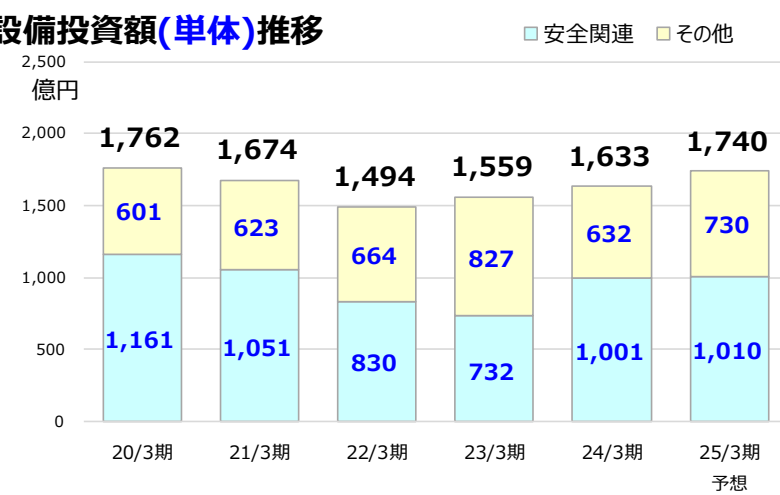
JR東海

設備投資額(単体)推移



JR西日本

設備投資額(単体)推移



- 鉄道セグメントは売上高は増加予想も、利益面で貢献していた新型車両用の高スペック鉄道部品需要が、新型車両製造工程が一巡して端境期に
- 一般セグメントは、主力の電子部品が需要回復まで時間を要する状況
⇒ 売上高は微増ながら粗利率が低下して売上総利益が減少、経費は全体でほぼ横ばいのため、**25/3期は増収・減益となる予想**

金額単位 (百万円)	24/ 3 期 実績	25/ 3 期 予想	増減	前期比
売上高	27,729	28,000	+ 271	+ 1.0%
営業利益	364	180	▲ 184	▲ 50.7%
経常利益	490	300	▲ 190	▲ 38.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	392	190	▲ 202	▲ 51.5%

記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

A blue-tinted photograph of a Shinkansen (bullet train) on tracks with overhead power lines. The train is white with blue accents and is moving along the tracks. The background shows a clear sky and some distant structures.

5. 配当・株主還元

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実や、収益性、成長性、企業体質の強化等を総合的に勘案して、安定的な配当の継続維持を基本方針としております。

	22/3期	23/3期	24/3期	2025/3期 (予想)
1株当たり年間配当額	25.00円	25.00円	25.00円	25.00円
1株当たり当期純利益	105.97円	▲90.78円	137.16円	66.33円
配当金総額（合計）	71百万円	71百万円	71百万円	—
配当性向（連結）	23.6%	—	18.2%	37.7%

2025/3期は安定継続配当の面から **1株当たり年間配当額は25.00円とする方針です。**
現時点での配当性向は37.7%となる予想です。

9月末に100株以上を保有する株主様を対象に、株主優待を行っています。

株主様の日頃のご支援への感謝と、当社株式への魅力をより一層高め、中長期的に保有いただける株主様の増加を図ることを目的としています。

保有株式数及び保有期間に応じて優待ポイントが贈呈され、そのポイントの特設サイト「**ヤシマキザイ・プレミアム優待倶楽部**」にて、2000点以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。（社会貢献活動への寄付も可能です）

また、優待ポイントは次年度に繰り越すことができます。（最大3年間有効です）

YASHIMA
株式会社ヤシマキザイ



Premium
プレミアム優待倶楽部



6. トピックス

1. 出品型鉄道専門 フリーマーケットサイト「鉄道ひろば」

当社は、創業以来、広く鉄道業界に携わる中で、鉄道のすばらしさとその価値を目の当たりにしてきました。

その価値を広く発信・共有したいという思いから、鉄道事業者や鉄道関連企業が鉄道古物や鉄道グッズ等を出品できる「鉄道ひろば」を 2022年12月 1 日にオープンし、出品企業や商品ラインナップも順次拡大しております。

この取り組みが出品企業のマーケット拡大や収益向上と、鉄道沿線地域活性化の一助となることを願っております。

なお、**株主優待制度でお渡しするポイントを「鉄道ひろば」のクーポン券と交換することが可能です。**（交換時期は 11月中旬～ 2 月末 の予定）



鉄道ひろば

鉄道ひろば



<https://www.tetuhiro.com/>

WEBサイト



Instagram



1. 出品型鉄道専門 フリーマーケットサイト「鉄道ひろば」

コンビニ決済手数料 0円！

ご利用ガイド

カテゴリーから探す 出品企業から探す 鉄道ひろばについて



ログイン



HOME > 鉄道古物

商品検索

すべての商品

カテゴリーから探す +

出品企業から探す +

おすすめ商品

商品の
「カテゴリー」や
「出品企業」ごとの
検索が可能です。

鉄道古物

新着順 ▼



中古品
由利高原鉄道 ドアスイッチ
(内側)
5,000円 (税込)



中古品
由利高原鉄道 ドアスイッチ
(外)
3,000円 (税込)



中古品
由利高原鉄道 3002形ヘッド
マーク
30,000円 (税込)



中古品
由利高原鉄道 YR2001形おも
ちゃ列車ヘッドマーク
80,000円 (税込)



中古品
6月1日(土)発売開始 【つ
くばエクスプレス】 マップ式
表示器 (2側)



中古品
6月1日(土)発売開始 【つ
くばエクスプレス】 マップ式
表示器 (1側)

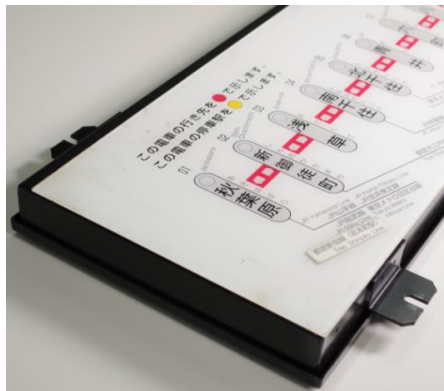


中古品
6月1日(土)発売開始 【つ
くばエクスプレス】 非常通報
装置



中古品
由利高原鉄道 ガソリントーチ
10,000円 (税込)

【「鉄道ひろば」の主な商品ラインナップ】



鉄道古物



鉄道グッズ



鉄道イベント（運転体験等）



食品

ほか各種

【出品企業（一例・敬称略）】

つくばエクスプレス 小湊鐵道 いすみ鐵道 銚子電氣鐵道 筑波観光鐵道
ひたちなか海浜鐵道 宇都宮ライトレール…

ほか全国の鉄道事業者・鉄道関連企業



商品・出品企業を順次拡大中！

ぜひWEBサイトをご覧ください！



鉄道ひろば 鉄道ひろば 
<https://www.tetuhiro.com/>

WEBサイト



Instagram



2. システム開発による提案営業の推進

鉄道関連のデジタルトランスフォーメーション（DX）における取組み強化のために2023年11月、株式会社みんなシステムズ(東京都墨田区)と**業務提携契約**を締結。鉄道各社・サプライヤーとの関係性を活かし、**部材管理**や**販売管理のソフトウェア**を提案し、顧客のニーズ(DX化、生産性向上等)に応えた新たなビジネスを構築。



クラウド型販売管理システム『ハチョDX』を2024年4月1日リリース！

いまお使いの販売管理システムに
ご不満はありませんか？



【4つのポイント】

- ① 各業界対応可能な**クラウド型**管理システム！
- ② 少量多品種の部材に秀でた**販売・調達・在庫管理**ができる！！
- ③ 一般の販売管理パッケージに比べて**安価**に導入可能！
- ④ **シンプル**な操作性、だれもが使いやすいデザイン！

『ハチョDX』

(<https://hacho.co.jp/LP/>)

是非Webサイトをご覧ください！

ハチョDX 

3. ハイウェイテクノフェア2024への出展

道路インフラ業界への拡販活動の一環として、2024年9月26日～27日に
東京ビッグサイトで開催される『ハイウェイテクノフェア2024』に出展いたします。

ハイウェイテクノフェアは、公益財団法人 高速道路調査会が主催し、高速道路の建設・管理技術の普及や活用を促進するとともに、高速道路事業について広くお客様や社会の理解を得ることを目的に、「高速道路の建設・管理技術」に焦点をあてて開催される展示会です。

【出展内容（予定・共催企業品含む）】

- ・電気赤外線融雪装置
- ・免震モジュール
- ・ポータブルE V用急速充電器
- ・ガラス飛散・割れ防止シート

など



4. Zip Infrastructure社との業務提携

2023年12月に**Zip Infrastructure**（ジップ・インフラストラクチャー）**株式会社**（福島県南相馬市、以下 Zip 社）と業務提携契約を締結。

Zip社は「低コスト・自由設計・自動運転」を特徴とする交通インフラ「**Zippar**」を開発し、交通渋滞のない、全ての移動がスムーズで快適な世界の実現を目指しています。

当社は「SDGs（持続可能な開発目標）」の観点からZip社に賛同し、当社の資材調達力や営業力を活かし、「Zippar」の開発・販売・普及・情報収集及び本稼働後のメンテナンス体制の確立に向けた協力を行い、「Zippar」の社会実装の推進を図っていきます。

自走式ロープウェイ「Zippar」試作車



4. Zip Infrastructure社との業務提携

<「Zippar」の主な特徴>

空間の有効活用	デッドスペースとなっている道路上の空間などを有効活用
低コスト	既存のモノレールの半分の輸送量を、約1/5のコスト・期間で建設可能
自動運転	時間帯や路線など、旅客需要に応じて車両数の増減が可能
自由設計	ロープとゴンドラが独立しているため、カーブや分岐に対応可能
安全対策	ロープを2本とし、通常ロープウェイの1.5倍の風速まで運行可能

これにより、既存の交通インフラの隙間を埋め、渋滞緩和や街づくりに貢献。

Zip Infrastructure社 ウェブサイト

<https://zipinfra.co.jp/index.html>

も、ぜひご覧ください。



自走式ロープウェイ「Zippar」試作車

自走式ロープウェイ「Zippar」 実験線の映像



鉄道事業者等はコロナ以前の水準への回復途上にあり、当社を取り巻く環境には未だ厳しい部分もありますが、当社はその活動を通じてステークホルダーの皆様、そして社会に役立てるように努めてまいります。

本日はご多忙中にも関わらず、I Rセミナーにご参加を頂きまして、ありがとうございました。

これからもヤシマキザイをよろしくお願い致します。

ご清聴、ありがとうございました。

(7677) 株式会社ヤシマキザイ

2024年 7月 9日 個人投資家向け I R セミナー

(主催：公益社団法人日本証券アナリスト協会 会場：日経茅場町別館 B 1 F)

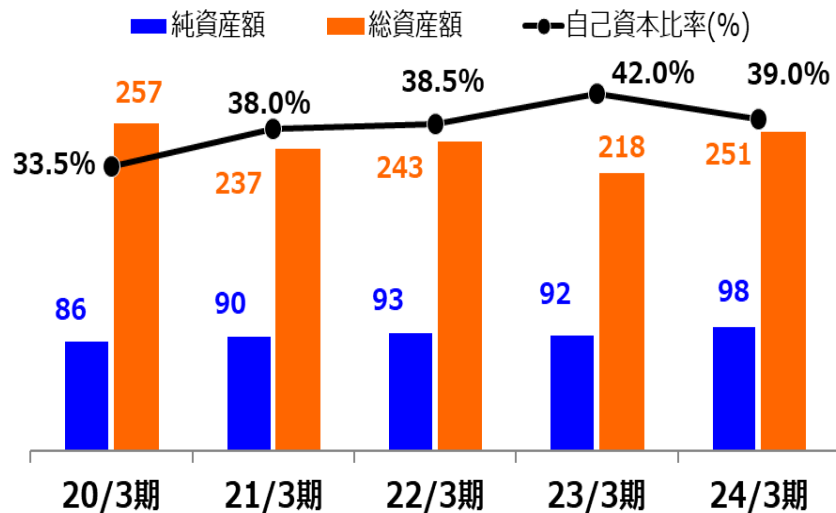


7. 参考資料

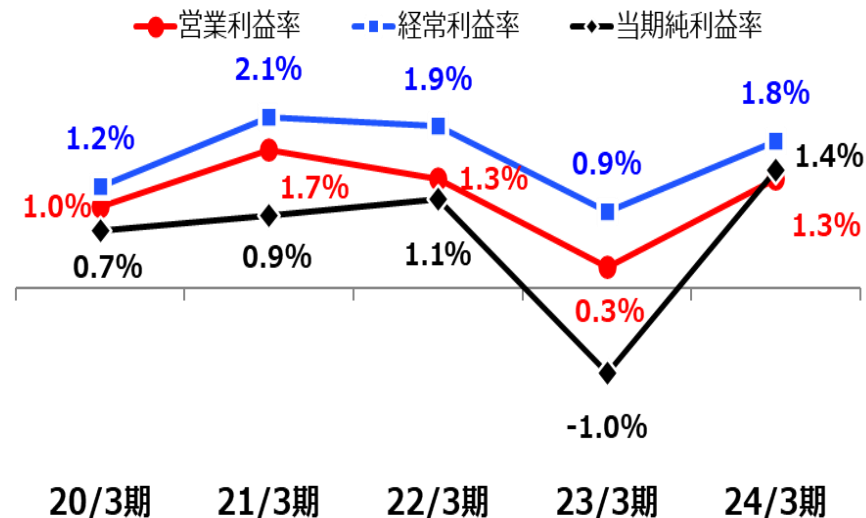
年月	概 要
1948年10月	香西角三郎他 6 名を発起人とし、資本金25万円で東京都中央区に 八洲器材株式会社 として設立
1951年 8 月	振興造機株式会社（現 神鋼造機株式会社）と 代理店契約 を締結
1962年 4 月	株式会社日本エヤーブレーキ（現 ナブテスコ株式会社）の 販売代理店 となる
1965年10月	株式会社日立製作所「鉄道車両用品」の旧国鉄向け 販売代理店 となる
1971年 8 月	神鋼電機株式会社（現 シンフォニアテクノロジー株式会社）の 販売代理店 となる
1977年10月	日本航空電子工業株式会社「コネクター及び同関連製品」の 特約店 となる
1990年 4 月	小糸工業株式会社（現 コイト電工株式会社）「鉄道車両部品」の 特定地区向け代理店 となる
1995年 4 月	東京都中央区に子会社 ヤシマ物流株式会社 設立（100%出資）
2004年 4 月	中国現地法人 亜西瑪（上海）貿易有限公司 を設立（100%出資）
2008年 1 月	三友物産株式会社 を子会社化（100%出資）
2011年10月	日立三菱水力株式会社「水力発電システム」の 販売代理店 となる
2013年11月	本社を現所在地に移転（東京都中央区日本橋兜町 6 番 5 号）
2013年12月	当社の商号を 株式会社ヤシマキザイ に変更
2017年 4 月	三友物産株式会社 を吸収合併
2019年 6 月	東京証券取引所 市場第二部 に上場
2022年 4 月	東京証券取引所 市場区分の見直しにより 市場第二部から スタンダード市場 に移行

社名	株式会社ヤシマキザイ【英文名】Yashima & Co.,Ltd.					
本社	東京都中央区日本橋兜町6番5号					
代表者	代表取締役社長執行役員 高田 一昭					
設立	1948年10月28日					
資本金	9,990万円					
従業員数	250名（2024年3月末現在 連結）					
事業内容	鉄道関連製品と産業用電子部品の販売、メンテナンスサービスおよび輸出入					
連結子会社	名称	住所	資本金	事業内容	議決権の所有 (又は被所有)割合	関係内容
	ヤシマ物流株式会社	東京都中央区	40,000千円	鉄道事業、一般事業	100.0%	物流業務等の委託
	亜西瑪(上海)貿易有限公司	中国上海市	1,000千US\$	鉄道事業、一般事業	100.0%	商材の仕入・販売 借入債務の保証
	※両社とも特定子会社 ※有価証券届出書又は有価証券報告書を提出している会社はありません。					
海外拠点	デリー支店、ムンバイ支店、ハノイ駐在員事務所、ジャカルタ駐在員事務所、マニラ駐在員事務所、ロンドン事務所 ■上海会社(現地法人)：上海・青島・深圳					

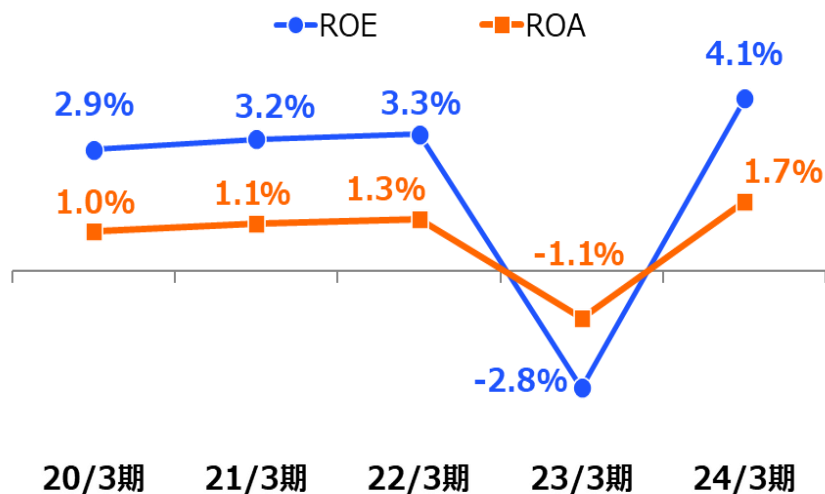
総資産・純資産 の推移 (億円)



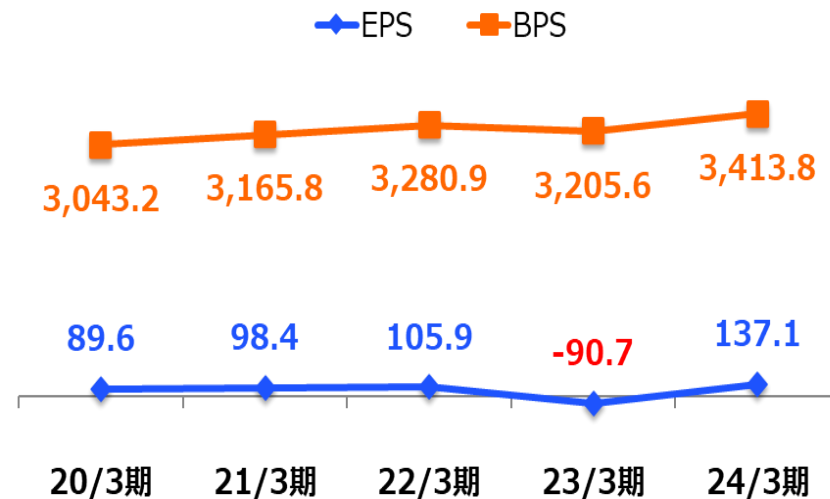
利益率 の推移



ROE・ROA の推移



EPS・BPS の推移



【経営理念】

- 一． ヤシマキザイは、鉄道・交通ビジネスに強い専門商社として、限りの無い成長を目指します
- 二． ヤシマキザイは、人材育成を通して、会社の成長を社員と分かち合います
- 三． ヤシマキザイは、法令を遵守し、良き企業市民として社会に貢献します

【行動準則】

- 一． 3現主義（「現場」「現物」「現実」）を基本にして行動する
- 二． コンプライアンス行動原則に基づき行動する



東証スタンダード市場 証券コード：7677

株式会社ヤシマキザイ <https://www.yashima-co.co.jp/>

【お問い合わせ先】 経営企画室

TEL：03-4218-0096

E-mail：contact-ir@yashima-co.co.jp